

百里基地（飛行場）における当面の運用

- 現在、これまで米国において養成した操縦士等の練度を維持するための訓練を実施するとともに、搭載装備品の機能確認試験を実施しています。
 - 百里基地（飛行場）においては、次のような訓練を行いたいと考えています。
 - ・ 離着陸訓練
離陸及び着陸時の操縦技法を習得する訓練
 - ・ 計器進入
航空機の姿勢、高度、位置及び針路の測定を計器にのみ依存して、主に飛行場への進入を行う飛行
- ※ 当面の使用頻度は、月数回程度の見込みです。
- ※ 有視界飛行方式による飛行時の基地への進入は、原則として西側の経路から進入することを考えています。



離着陸訓練等